

令和4年度 学校経営方針

学校教育目標

21世紀を生き抜く
心豊かでたくましい児童の育成

本年度の重点目標

- 1 情報活用能力の向上(児童)
- 2 授業力の向上(教員)

目指す学校像

子供が明るく、
生き生きとした学校

子供、保護者、地域に
信頼される学校

子供も教職員も
喜んで通う学校

目指す児童像

- ・かしこく(自ら学びとる子)
- ・ゆたかに(認め合う心をもつ子)
- ・たくましく(健康な心身をもつ子)

目指す職員像

- ・葛飾小学校の教職員であることに誇りをもち、愛情をもって子供に接することができる教職員
- ・専門職としての研究、修養に積極的に取り組み、絶えず指導力を高める教職員
- ・職務に専念し、子供、保護者、地域から信頼される教職員
- ・ワークライフバランスを意識して行動する教職員

教育課程の編成(何を学ぶか)

- ・基礎基本事項の定着
- ・言語能力の育成
- ・情報活用能力の向上
- ・問題発見・解決能力の育成

教育課程の実施(どのように学ぶか)

- ・子供の実態(アンケート、QU調査、学力学習状況調査等)から見える実態を基にした教育課程の実施
- ・一人一台タブレット端末等ICTの日常的・効果的な活用(子供が主体となるICTの活用)
- ・「主体的・対話的で深い学び」を実現する授業の実施
- ・話し合い活動(ペアワーク・グループワーク等)など情報活用能力を高める工夫した常時活動の実施
- ・読書活動の充実
- ・道徳教育・特別支援教育・異学年交流の充実

開かれた学校づくり

- ・学校・学年・学級便り、Webサイト、メール等による積極的な情報発信・電子化
- ・外部の人材・教材を生かした情報活用能力を向上する学校づくり

安心・安全と健やかな体づくり

- ・自分の命は自分で守る子供の育成(健康・安全・防災教育)
- ・お互いを認め合い、安心して過ごせる学級・学校(人権教育・道徳)
- ・「する・みる・支える・知る」の多様な観点からの体育指導、基礎的な運動能力の向上と適切で豊かな保健・食育指導

指導体制の充実・家庭地域との連携・協働(実施するために必要なこと)

- ・授業力を向上させる研究・研修の充実(年一人一回の授業研究の実施)
- ・子供の実態を確実に把握(アンケート・QU調査等)した上での支援の充実
- ・「あいさつ」「そうじ」「行事」等の取組により育てる豊かな心
- ・迅速で組織的な生徒指導(「報連相」と段階的な生徒指導対応、相談機能の活用)

